

あなたの合格を全力でサポートします！

2級管工事施工管理技士

一次・二次コース

一次コース

二次コース



女性が選ぶ資格スクール

No.1



建築のプロがおすすめする建築士講座

No.1



大学生が選ぶ資格スクール

No.1



TOP INTERVIEW

株式会社建築資料研究社は、
1969年に建設関連の出版事業を創業して以来、
多くの皆さまにご愛顧いただき、2024年8月に創立55周年を迎えます。
創業者／馬場瑛八郎は、日本大学 工学部 建築学科を卒業後、
設計事務所に勤めながらも苦勞して一級建築士を取得し、
『これから建築士取得を目指す方々に同じ苦勞をさせたくない』その思いから
資格受験予備校「日本建設実務学院」が設立されました。(現在の日建学院)
私も大学の建築学科を卒業後、建設会社で現場管理の仕事をするかたわら
日建学院に通い一級建築士、一級建築施工管理技士を取得しました。
仕事を続けながらの受験勉強はけっして楽なことではありません。
仕事と勉強の両立はつらいことも多く、学習の継続は大変です。
しかし、それを乗り越え合格できる環境が日建学院にはあります。

HISTORY

- 2005年 登録講習機関として許可を受け「宅建登録講習」を開講
- 2004年 実施協力機関として「監理技術者テレビ講習」を開講
- 2002年 Webオンライン学習システム「ニッケンbbスクール」スタート
- 1995年 (社)全国建設業協会と提携し(株)建設産業振興センター設立に参加
- 1990年 インテリア雑誌「コンフォルト」創刊
- 1989年 日建学院100校目開校
- 1986年 「1級/2級土木・造園・管工事、測量士補講座」開講
- 1985年 「1級/2級建築施工管理技士講座」開講
- 1983年 シリーズ書籍「建築設計資料」創刊
- 1982年 建築専門学校「東京日建工科専門学校」開校
- 1980年 日建学院60校目開校
- 1979年 「日建新聞」創刊
- 1978年 「土地家屋調査士講座」開講
「宅地建物取引主任者(現取引士)」開講
- 1977年 日建学院 映像講座制作の為、本社内にスタジオ・編集室設置
基本建築基準法関係法令集(オレンジ本)創刊
- 1976年 日建学院開設 東京校(1・2級建築士学科・設計コース)
- 1975年 雑誌「住宅建築」創刊
- 1973年 カセットによる建築士養成講座発売
- 1972年 コンピューターによる建築構造計算システムを開発
雑誌「庭」・積算ポケット手帳」を創刊
- 1970年 原図資料集発売
- 1969年 株式会社建築資料研究社創立

日建学院で学び合格できた喜びを一人でも多くの方々に経験していただきたい。
 この業界のトップランナーとして駆け続けたこれまでとともに、
 創業者の想いを受け継ぎ、これからも社会に貢献できる企業であり続けるため、
 頑張る人々を全力でサポートし続けます。



代表取締役 馬場 栄一

1992年 3月 早稲田大学 理工学部 建築学科 卒業

1992年 4月 大成建設株式会社東京支店 入社
 (現場管理)東京:恵比寿ガーデンプレイス建築工事ほか
 大阪:泉大津ポートタワー-建築工事ほか

*在職中に一級建築士/一級建築施工管理技士 取得(日建学院 通学)

2000年 1月 株式会社建築資料研究社 入社

2000年 4月 住宅事業本部 本部長

2002年 4月 学院本部 本部長

2007年 5月 営業本部 取締役

2007年 7月 代表取締役社長 就任
 現在に至る

- 2024年 創立55周年
- 2021年 日建学院建築士講座が日本マーケティングリサーチ機構の調査により10部門でNo.1を獲得
- 2020年 日建学院が日本マーケティングリサーチ機構の調査により3部門でNo.1を獲得
- 2019年 創立50周年
- 2015年 日建学院開校 40周年
- 2014年 8月に創立45周年となる
- 2012年 スマートフォン・タブレットでも講義視聴が可能となる配信システムを構築
- 2011年 個別講座を扱う日建学院公認スクールを全国に展開
 求職者支援訓練、都道府県委託訓練を全国で展開
- 2010年 厚生労働省雇用対策緊急人材育成支援事業による「基金訓練」建築・不動産・パソコン簿記養成講座を開始
- 2009年 建築士や土木講座を扱う日建学院認定校を展開
 (社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)認定講習を開始
- 2008年 日建学院教室内「個別ブース」学習スタイルスタート
- 2006年 国土交通大臣の登録をうけた実施機関として「宅建実務講習」を開講
 1・2級建築士、宅建、個別指導システムスタート



日建学院の母体である建築資料研究社は、建設業界向けの資料集や書籍、専門誌などを50年以上発行している出版社。建設業に携わる事業所には、必ずそれらの市販書が置かれているはず。

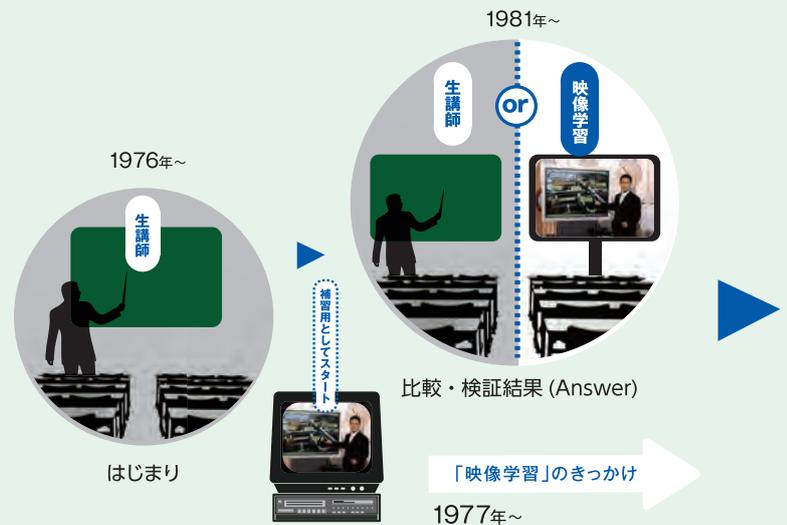
なぜ日建学院は「映像学習」なのか？

生講師による講義からスタートした日建学院。より高い成果、効率的な学習方法を求めて試行錯誤するなかで、「映像学習」の講義スタイルという選択肢が現れました。試験的導入の結果、合格率の高い「映像学習」を選択。歴然の差の前に、「映像学習」の効果を突きつけられたこと。映像一筋で比類ない実績を出し続ける日建学院の原点です。

ここが違う!!

よそ 他の映像とは違う! 日建学院の映像

一般的な映像講義とは、教室の後ろから定点撮影した映像を編集したものです。日建学院の高合格率を支える最高品質を追求する映像は、最新鋭の設備と技術を誇る自社スタジオで、完全オリジナル撮影・編集。講義時間の数倍の時間をかけ、CGやアニメーション等も盛り込んだ頭と心に残る映像だから違いが出ます。



全員合格を目指すなか、
「欠席者も含め、全員合格して欲しい」
という思いから補講VTRを制作。

その後、全国展開するなかで、各校の講師のレベル差が合格率の差となって表れました。そこで、講師のレベル較差をなくし安定した高い合格率を求め「映像学習」の講義スタイルにする教室が増えていきます。

STEP.1 会議



合格に直結する映像をめざし
クオリティをとことん追求

最新の試験情報、業界動向を徹底的にチェック＆精査し、試験に必要な知識をいかにわかりやすく、覚えやすく盛り込むかを相談します。講師だけでなく教材制作者や試験分析官など、各分野のプロが意見を出し合い、内容を細部まで緻密に丁寧に決めていきます。

STEP.2 撮影



各分野のカリスマ講師が
全受講生に最高の講義を提供

それぞれの分野を、一番得意とする講師が担当。内容はもちろん映像としての質にもこだわり、実際の講義の数倍もの時間をかけて撮影します。映像講義で想像しがちな、どこかで行われた講義を撮影しておいて、他の場所でも流すというものではありません!

Answer

生講師の教室と「映像学習」の教室の受講生を比較すると、

合格率が平均的に 10%高い実績！

合格にこだわるため、受講生の声と合格実績から「映像学習」を選択。
全国一律の圧倒的な講義力で今に至ります。

1989年～



合格にこだわる選択「映像学習」の講義スタイルへ

1998年～



クオリティを追求し続ける

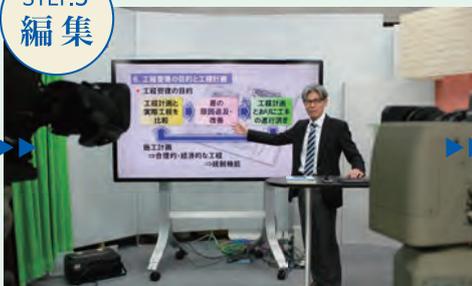
「つまずきやすい」が「わかる」に変わる。

文章ではイメージしにくい内容などは、実写映像、コンピュータグラフィック、アニメーションなど、理解するために最適な表現方法で映像化。質問の多い箇所やテストで正答率の低い箇所は「よりわかりやすい」映像表現を求めて、毎年、進化を続けています。「つまずきやすい」を「わかる」に変えるまで工夫を重ねた映像講義だから「よくわかる」「疑問が残らない」と好評です。

映像の学習効果は脳科学でも立証。

人間の脳には日々、膨大な情報が入ってきます。これを脳の海馬という器官が取舍選択し、海馬が選んだ情報だけが脳に送られ、記憶として保管されるのです。脳科学の世界では、文字や聴覚だけの情報に比べ、映像情報のほうが海馬の記憶に残りやすいと言われています。試験の本番中に「講義で見た映像がよみがえった」。毎年、多くの受講生から聞く声です。

STEP.3
編集



CGやアニメ等も盛り込みながら
頭と心に残る映像への仕上げ

講師が解説するだけでなく、現場の映像、イラストやCG、アニメーションなどを多用。一番わかりやすい手法を採り入れながら編集します。最新機器を完備した自社のスタジオ & 編集室での一貫制作だからこだわり放題。最新情報の追加なども自由自在です。

STEP.4
完成



さらに!!
アドバイザー講師が
いるから安心!!



映像講義後に、その場で
質問に答える講師がいます

映像講義への不安といえば「ただ映像が流れるだけ」「わからないことがあっても質問できず、そのまま」…。もちろん、そんなことはありません。講義の際に常駐する講師が疑問をその場で解決して前に進めます。

科学に基づく 日建式学習システム

必死に頑張ることは、もちろん大切。その頑張りを確実に成果に結びつけるためのシステムも、同じくらい重要です。

脳の仕組みにこだわって、スムーズに学び、しっかり記憶する。

自然な流れでくり返される学習システムで理解を促し、知識を定着させます。

脳は覚えるより、忘れるほうが得意!?

- 生きていくために必要な情報
- 合格するために必要な情報
- その他の情報

様々な情報

情報は目や耳などから
送り込まれる

情報を
記憶する

海馬で選択された情報を
大脳で保管する

情報を
選択する

海馬では生きるために
必要な情報とその他の
情報をふるい分ける

情報を
忘れる

海馬でふるい落とされた
その他の情報は
消去される

●脳における記憶の分業システム

情報	脳には膨大な 情報が入ってくる	海馬	情報を取捨選択して、 大脳に送る	大脳	海馬から送られた 情報を保管する
----	--------------------	----	---------------------	----	---------------------

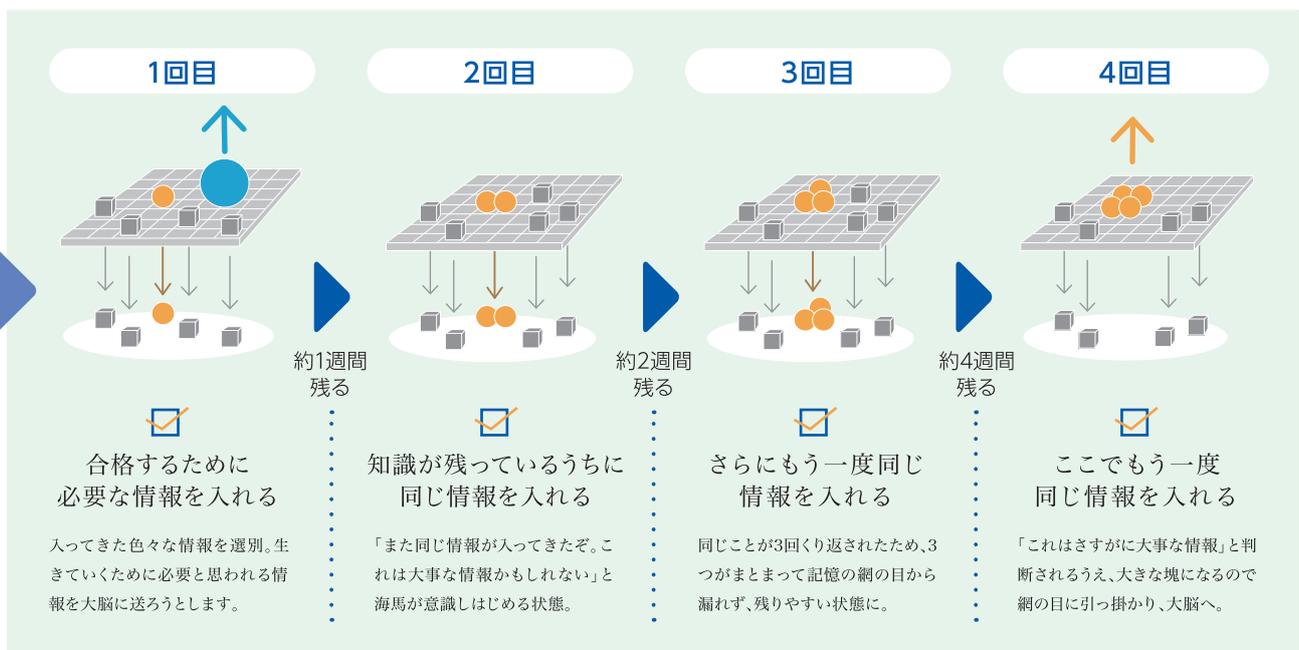
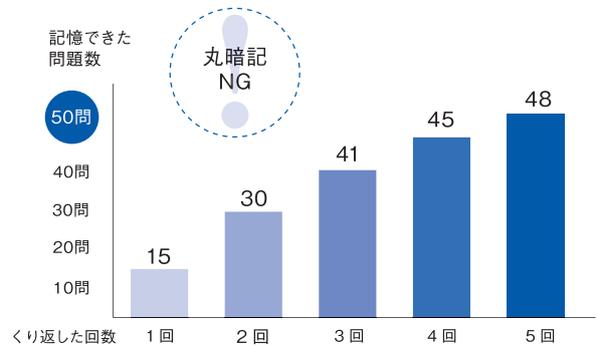
脳の仕組みを上手に利用している人が「頭の良い人」だ！

4回くり返し学習することがポイント！

くり返しと記憶の関係

(50問の問題をくり返し学習した場合)

一度で覚えられないのは当たり前。「記憶力が悪い」わけではありません。記憶は、くり返し刷り込むことで定着します。くり返すことによって、誰でも覚えられることは増えていきます。



日建学院式 週間学習サイクル

1日2時間 自宅学習の習慣化！

1週間単位で確実に実行することが、合格の輪を大きくする。





2級管工事施工管理技士とは？

知識と技術を兼ね備えた、設備工事のプロフェッショナルへ

冷暖房設備工事、給排水・給湯設備工事、ダクト工事、浄化槽工事、ガス配管工事など建設工事の中でも大きな比重を占める配管設備工事全般。その現場での作業や施工計画の作成、安全管理に至るまでの総合的な管理を行うための資格です。2級管工事施工管理技士は、建設業法に定められた一般建設業の許可を受けている建設業者の営業所における「専任技術者」及び工事現場における「主任技術者」となることが認められています。

資格取得の
メリット

- メリット 1** 活躍の場を広げる第一歩

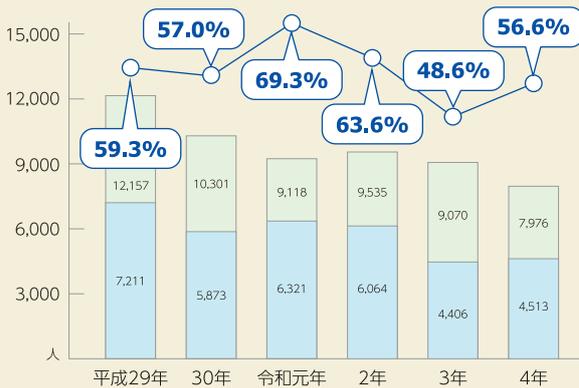
2級管工事施工管理技士を取得することは、建設工事現場で欠かせない資格とされる1級資格へとステップアップするための第一歩になります。
- メリット 2** 設備業界での評価が高まる

管工事施工管理技士は、設備業界の中でも重要な資格のひとつです。資格取得によって、業界内での評価も高まります。
- メリット 3** キャリアアップのための証として

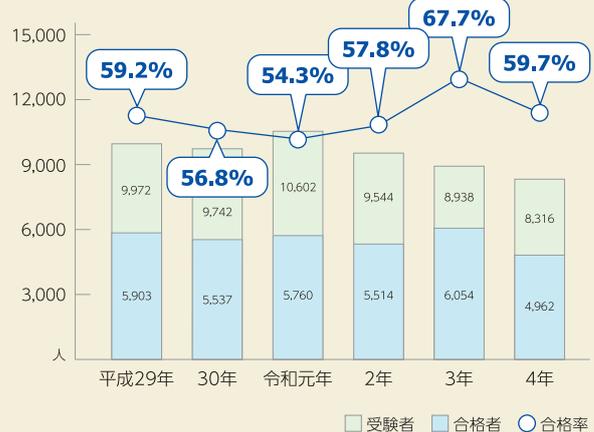
あなたにとっても、資格の取得は「技術的知識」と「管理能力」を備えた人材としての証となり、昇進・昇給等キャリアアップにつながります。

check!

2級管工事施工管理技士「一次(学科)後期」
受験者数・合格者数・合格率推移



2級管工事施工管理技士「二次(実地)」
受験者数・合格者数・合格率推移



■ 技術検定制度の見直し (2021年4月1日施行)

【改正前】

1級 学科試験 合格 実地試験 合格 → 1級技士
2級 学科試験 合格 実地試験 合格 → 2級技士

称号付与

【改正後】

1級 第一次検定 合格 → 1級技士補 → 第二次検定 合格 → 1級技士
2級 第一次検定 合格 → 2級技士補 → 第二次検定 合格 → 2級技士

称号付与

称号付与

第一次検定

施工技術のうち基礎となる知識及び能力を有するかどうかを判定

第二次検定

施工技術のうち実務経験に基づいた技術管理及び指導監督に係る知識及び能力を有するかどうかを判定

合格者インタビュー

知識が付いたことで
適切な判断ができるようになった。



西山 隼人 Hayato Nishiyama

勤務先の業種 管工事業 業務内容 施工管理係 取得資格 2級管工事施工管理技士

Q.どのような学習スタイルでしたか？

一日1時間程度。週だと5時間位です。声に出して読むなど、とにかく教材を読み込みました。仕事が終わってもすぐに帰宅せず30分でも勉強をしていました。

Q.試験に合格して変わったことは？

自分自身がスキルアップできたこと。知識が付いたことで職人さんを含め周りの方との打ち合わせの時などにも、正しい判断ができるようになりました。

Q.資格取得を目指す方へのメッセージ

資格取得は大変ですが、その努力もまた自分を成長させる糧になります。自分自身も現場で主任技術者として立ち、これからももっとスキルアップをしていきたいと思います。



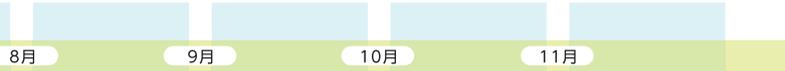
あなたの目的や状況に応じて、より効率的で効果的な学習を進めていただくために、日建学院では様々な「受講スタイル」の学習環境をご提供致し、1つの教室で仲間と学ぶ通学型、または、インターネットを通じて受講するWeb型など、それぞれ特徴を持つ学習環境の中から、ご自分に最適な

	4月	5月	6月	7月
<p>年間を通して受検対策を準備される方へ</p> <h2>ストレート合格パック</h2> <p>年度内に実施される受検機会すべてに準備をするパックです。前期試験で一次検定合格を勝ち取り、後期試験で二次検定合格のための見直し学習も同時進行させてストレート合格を目指します。</p>	4月上旬		一次コース（6月試験向け） 本講義	第一次 検定 本試験
<p>万全の準備で受検対策をする方へ</p> <p>→P.10</p> <h2>一次・二次コース</h2> <p>充実したカリキュラムで一次検定・二次検定の合格を狙います。自宅学習では本講義開講までの基礎力を身に付け、本講義では毎回予習および理解度を確認する学習サイクルで、効率良く学習を進めるコースです。</p>				
<p>一次検定合格を目指す方へ</p> <p>→P.14</p> <h2>一次コース(6月試験向け) 一次コース(11月試験向け)</h2> <p>一次検定に向け効率良く学習を進めるコースです。わかりやすい教材と、理解しやすい映像講義で効果的に合格力を養います。</p>	4月上旬		一次コース（6月試験向け） 本講義	第一次 検定 本試験
<p>二次検定合格のために準備を始める方へ</p> <p>→P.18</p> <h2>二次コース</h2> <p>わかりやすい講義内容で二次検定の重要ポイントを学習するコースです。二次検定に必要な知識の養成と文章力および解答力の習得を図ります。</p>				

します。
「受講スタイル」をお選びください。

初 初学者

経 受験経験者



9月上旬

一次Webコース(11月試験向け)
本講義

第一次
検定
本試験

受講料 350,000円 (税込385,000円)



対象者 初 経 受講形式 通学・Web

コース概要 一次コース(6月試験向け)・一次Webコース(11月試験向け)、
二次コースに準じます。

学習期間 受講開始から約7ヵ月間

開講日 4月上旬～11月本試験当日まで

10月中旬

二次コース
本講義

第二次
検定
本試験

9月上旬

一次・二次コース
本講義

第一次・第二次
検定
本試験

受講料 250,000円 (税込275,000円)



対象者 初 経 受講形式 通学・Web

学習期間 受講開始から約3ヵ月間

開講日 9月上旬～11月本試験当日まで

9月上旬

一次コース(11月試験向け)
本講義

第一次
検定
本試験

受講料 各220,000円 (税込242,000円)



対象者 初 経 受講形式 通学・Web

学習期間 受講開始から約3ヵ月間

開講日 6月試験向け…4月上旬～6月本試験当日まで
11月試験向け…9月上旬～11月本試験当日まで

10月中旬

二次コース
本講義

第二次
検定
本試験

受講料 120,000円 (税込132,000円)



対象者 初 経 受講形式 通学・Web

学習期間 受講開始から約1ヵ月間

開講日 10月中旬～11月本試験当日まで

※詳細は最寄りの日建学院にお問い合わせください。

一次・二次

コースの特長

自宅学習＋一次・二次対策講座で
合格へのフルスペック学習を

本講座全17回(一次対策講座10回、模擬試験も含めた二次対策講座7回)に備え、事前に基礎力と学習リズムを身に付ける基本自宅学習をプラス。フルスペックの学習内容で合格力を養います。

■ 一次・二次コース

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、公認スクール

学習期間: 受講開始から約3カ月間

■ 一次・二次Webコース

受講形態: Web

配信期間: 9月上旬～11月本試験当日まで

📅 コースカリキュラム

入学・面接

【自宅学習用教材セット配付】

📄 面接・診断テスト

簡単な面接・診断テストで基礎レベルを判定します。



基本自宅学習

【全5回】

- 一般基礎 (1回)
- 空気調和設備 (1回)
- 給排水・衛生設備 (1回)
- 電気・建築・建築設備 (1回)
- 施工管理・関連法規 (1回)





教材配付:9月上旬より予定

※入学後自宅学習用教材配付

学費:250,000円(税込275,000円)



教材配付:9月上旬より予定

※入学後自宅学習用教材配付

学費:250,000円(税込275,000円)

9月上旬

オリエンテーション

【一次・二次対策講座用教材配付】

いよいよ一次・二次対策講座の開始です。ここで、講座内容の説明を受け、教材が配付されます。

10月

一次対策講座

[全10回]

- 一般基礎(1回)
- 空気調和設備(2回)
- 給排水衛生設備(2回)
- 電気・建築設備機器(2回)
- 施工管理(1回)
- 関連法規(1回)
- 重要問題の解説(1回)

10月

二次対策講座

[全7回]

- 二次対策(4回)
- 模擬試験
 - 一次模擬試験(1回)
 - 二次模擬試験(1回)
- 二次検定総まとめ(1回)

11月

第一次・第二次検定本試験

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問合わせください。

一次・二次

カリキュラム

■ 一次・二次コース ■ 一次・二次Webコース

回数	講義(科目・回数)	時間数	テスト	宿題
9月 一次対策 講座	◇ 特別研修会(オリエンテーション)	60分	-	-
	1 一般基礎	105分	1回	一次 1・2回
	2 空気調和設備①	105分	2回	
	3 空気調和設備②	105分	3回	一次 3・4回
	4 給排水衛生設備①	105分	4回	
	5 給排水衛生設備②	105分	5回	一次 5・6回
	6 電気・建築 設備機器①	105分	6回	
	7 電気・建築 設備機器②	105分	7回	一次 7・8回
	8 施工管理	105分	8回	
	9 関連法規	105分	9回	一次 9回
10 重要問題の解説	105分	-	-	
10月 二次対策 講座	1 二次対策①(経験記述対策)	105分	1回	二次 1・2回
	2 二次対策②(記述式問題対策)	105分	2回	
	3 二次対策③(記述式問題対策)	105分	3回	二次 3・4回
	4 二次対策④(記述式問題対策)	105分	4回	
	5 模擬試験(一次検定)	120分	-	-
	6 模擬試験(二次検定)	90分		
	7 二次検定総まとめ	90分	-	-
11月 本試験	2級管工事施工管理技士 第一次・第二次検定本試験日			

相乗効果を
最大限に
引き出す
学習サイクル



一次対策テキスト

試験に合格することを第一の目標に過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集したテキストです。



一次対策問題集

問題集は、問題と解答解説を合わせて記載しているため、頁をめくることなく解答のチェックができ、各問題がその場で理解できます。また、出題科目ごとにまとめてありますので、弱点部分の補強にも大変利便な構成になっています。



二次対策テキスト

二次検定で出題される経験記述の「記入上のポイント」、記述式問題における施工要領図の考え方や施工上の留意事項などの記述ポイントを網羅。書いて覚えることを目的としたテキストです。



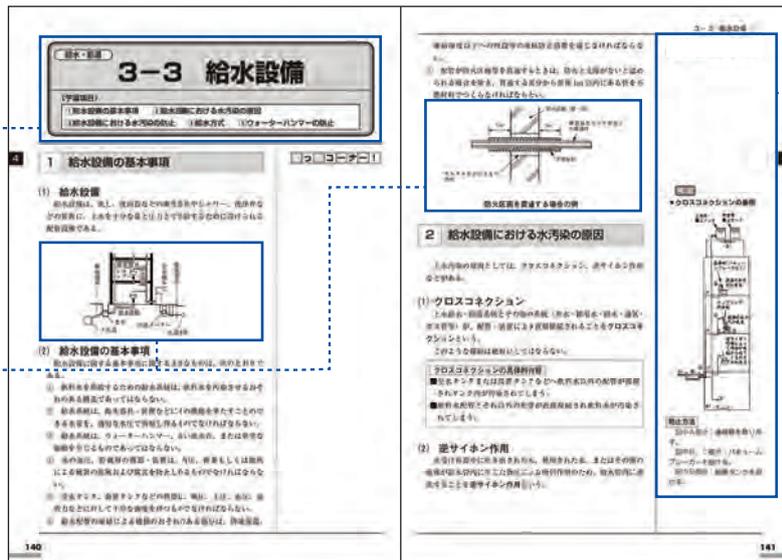
出題傾向を徹底分析、わかりやすい 「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい

出題科目ごとに学習項目を集約。学習範囲が一目瞭然!

図や写真が多く
理解しやすい



確実に理解しておきたい内容や記憶しておきたい部分を簡潔に説明

ポイント欄

注意すべき点、重要事項の要点を抜粋

補足

合わせて覚えてもらいたい要点や関連する事項を掲載

用語

重要な用語には、解説と表や図解を掲載



自宅学習用教材セット

自宅学習用教材セットは、覚えていただきたい基本的な知識を自宅において学習してもらう目的で制作されています。これらの教材を使って、一次・二次対策講座が始まる前までに、試験に対応できる基礎力を万全にします。

- 自宅学習用テキスト
- 基本問題集
- 用語集



一次対策宿題

自宅で行う予習用の教材で、講義のポイントや事前にインプットすることを目的としています。宿題は提出することが義務づけられています。



一次対策テスト

宿題や講義で学んだポイントの学習定着度合いを測るアウトプット教材です。テストの結果は、自己管理ノートに記録して管理します。

※教材写真は過年度のものであります。

一次

コースの特長

理解度を高める「オリジナル教材」と
理解しやすい「映像講義」

年2回実施される一次検定に対応した受検対策講座です。本講座前に基礎力や学習リズムを身に付ける基本自宅学習全5回、模擬試験も含めた一次対策講座全11回の学習内容で合格力を養います。

■ 一次コース (6月試験向け) (11月試験向け)

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、公認スクール

学習期間: 受講開始から
約3カ月間

■ 一次Webコース (6月試験向け) (11月試験向け)

受講形態: Web

配信期間: 6月試験向け: 4月上旬～6月本試験当日まで
11月試験向け: 9月上旬～11月本試験当日まで

📅 コースカリキュラム

6月試験向け

11月試験向け

入学・面接

【自宅学習用教材セット配付】

📄 面接・診断テスト

簡単な面接・診断テストで
基礎レベルを判定します。



基本自宅学習

[全5回]

- 一般基礎 (1回)
- 空調和設備 (1回)
- 給排水・衛生設備 (1回)
- 電気・建築・建築設備 (1回)
- 施工管理・関連法規 (1回)



教材配付: 6月試験向け: 4月上旬より
 11月試験向け: 9月上旬より
 ※入学後自宅学習用教材配付

学費: 各**220,000**円 (税込242,000円)



教材配付: 6月試験向け: 4月上旬より
 11月試験向け: 9月上旬より
 ※入学後自宅学習用教材配付

学費: 各**220,000**円 (税込242,000円)

4月上旬

9月上旬

6月

11月



一次対策講座

[全11回]

- 一般基礎(1回)
- 空気調和設備(2回)
- 給排水衛生設備(2回)
- 電気・建築 設備機器(2回)
- 施工管理(1回)
- 関連法規(1回)
- 重要問題の解説(1回)
- 一次模擬試験(1回)

第一次検定本試験

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問い合わせください。

カリキュラム

■ 一次コース(6月試験向け・11月試験向け) ■ 一次Webコース(6月試験向け・11月試験向け)

6月 試験	11月 試験	回数	講義(科目・回数)	時間数	テスト	宿題
		◇	特別研修会(オリエンテーション)	60分	-	-
		1	一般基礎	105分	1回	1・2回
		2	空調調和設備①	105分	2回	
		3	空調調和設備②	105分	3回	3・4回
		4	給排水衛生設備①	105分	4回	
		5	給排水衛生設備②	105分	5回	5・6回
		6	電気・建築 設備機器①	105分	6回	
		7	電気・建築 設備機器②	105分	7回	7・8回
		8	施工管理	105分	8回	
		9	関連法規	105分	9回	9回
		10	重要問題の解説	105分	-	-
		11	模擬試験(一次検定)	120分	-	-
		本試験	2級管工事施工管理技士 第一次検定本試験日			

4月

9月

5月

10月

6月

11月

一次対策
講座

相乗効果を最大限に引き出す学習サイクル



一次対策テキスト

試験に合格することを第一の目標に過去の試験問題を徹底的に分析し、最も効率よく理解・記憶ができるように編集したテキストです。



一次対策問題集

問題集は、問題と解答解説を合わせて記載しているため、頁をめくることなく解答のチェックができ、各問題がその場で理解できます。また、出題科目ごとにまとめてありますので、弱点部分の補強にも大変便利な構成になっています。



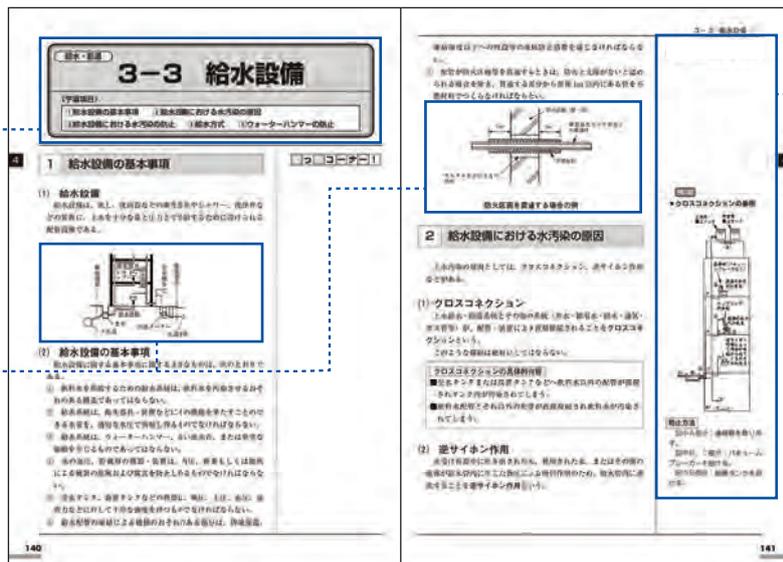
出題傾向を徹底分析、わかりやすい「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

理解しやすい

出題科目ごとに学習項目を集約。学習範囲が一目瞭然!

図や写真が多く理解しやすい



確実に理解しておきたい内容や記憶しておきたい部分を簡潔に説明

ポイント欄

注意すべき点、重要事項の要点を抜粋

補足

合わせて覚えてもらいたい要点や関連する事項を掲載

用語

重要な用語には、解説と表や図解を掲載



自宅学習用教材セット

自宅学習用教材セットは、覚えていただきたい基本的な知識を自宅において学習してもらう目的で制作されています。これらの教材を使って、一次対策講座が始まる前までに、試験に対応できる基礎力を万全にします。

- 自宅学習用テキスト
- 基本問題集
- 用語集



宿題

自宅で行う予習用の教材で、講義のポイント事前にインプットすることを目的としています。宿題は提出することが義務づけられています。



テスト

宿題や講義で学んだポイントの学習定着度合いを測るアウトプット教材です。テストの結果は、自己管理ノートに記録して管理します。

※教材写真は過年度のもです。

二次

コースの特長

徹底集中講座
二次対策に特化した

約1ヵ月間、全6回で構成される二次対策に特化した集中講座です。

記述式問題や経験記述の過去問題を徹底分析し、わかりやすい教材と理解しやすい講義内容で重要ポイントを学習。模擬試験で実力把握するなど、二次検定合格を強力にサポートします。

■ 二次コース

受講形態: 通学

※本講座実施校: 直営校、公認スクール

学習期間: 受講開始から
約1ヵ月間

■ 二次Webコース

受講形態: Web

配信期間: 10月中旬～11月本試験当日まで

📅 コースカリキュラム

10月中旬

回数	講義	時間数	内容
1	二次対策① (経験記述対策)	105分	二次検定は、一次検定の一択・二択とは違い、記述で解答する方式です。記述で解答するには、解答に必要な知識とそれを文章にする力の両方が必要になってきます。この知識プラス文章力を習得するための講義です。
2	二次対策② (記述式問題対策)	105分	
3	二次対策③ (記述式問題対策)	105分	
4	二次対策④ (記述式問題対策)	105分	

学習形態



通学型学習



Web



教材配付:10月中旬より

学費: **120,000**円 (税込132,000円)



教材配付:10月中旬より

学費: **120,000**円 (税込132,000円)

11月

第二次検定本試験

回数	講義	時間数	内容
5	模擬試験 (二次検定)	90分	模擬試験は、全国一斉に行われる本試験と同じ出題形式です。「あなたの実力がどれぐらいなのか?」がわかります。この結果に基づき教材で弱点を補強してください。
6	二次検定総まとめ	90分	記述式問題において重要度の高い問題を厳選した重要問題要点解説講義です。本試験前の最終確認として役立ててください。

※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
※各校により開講時期が異なります。詳細は最寄りの日建学院までお問合わせください。

POINT 1

合格するためのポイントを効果的に学べる。

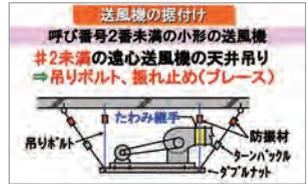
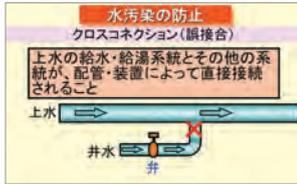
映像講義は、全て一流講師陣をはじめとするプロ集団が制作。試験のポイントがわかりやすく、要点を掴みやすい講義です。

POINT 2

理解度・想起度が高い 図表や動画を使用。

視覚と聴覚を同時に刺激する映像講義。理解度・想起度・記憶度を抜群に高める学習方法として、高い評価と厚い信頼を得ています。講義の流れに合わせて図表などを用いて解説するため、高い理解度が得られます。

＼ 実物映像や図解だから理解が早い！ ／



日建学院の映像講義のクオリティの高さと教材の完成度は、多くの企業、法人、大学等からも高い評価を受け、国土交通省登録の法定講習をはじめ、様々な講義への制作協力もしています。

まずは動画体験版へGo!

日建学院

検索

Click!

二次対策テキスト

二次検定で出題される経験記述の「記入上のポイント」、記述式問題における施工要領図の考え方や施工上の留意事項などの記述ポイントを網羅。書いて覚えることを目的としたテキストです。



宿題

自宅で行う予習用の教材です。必要なポイントを事前に記述練習することを目的としています。宿題は提出することが義務づけられています。



テスト

宿題や講義で学んだ記述ポイントの定着度合いを測るアウトプット教材です。必要なポイントをしっかり覚えてうえで簡潔な解答が記述できているかを確認します。



出題傾向を徹底分析、わかりやすい「オリジナルテキスト」

日建学院のテキストは、試験を熟知した講師陣が試験の出題内容を分析し、見やすさや使いやすさに配慮して編集しています。

重要項目をわかりやすく解説していますので、復習でさらに理解度を高めることができます。

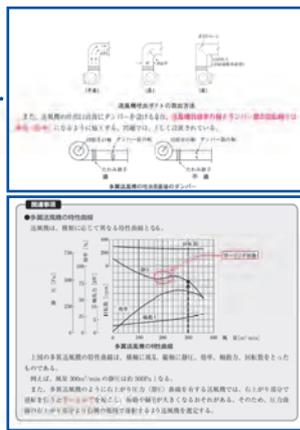
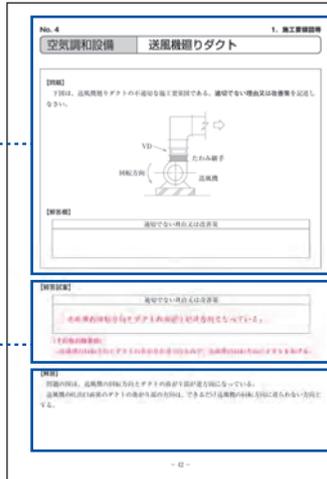
理解しやすい

【問題】

出題項目ごとに問題集形式で記述式問題を収録。また、過去に出題された重要度の高い問題を中心に厳選！より実践に近い形で記述解答練習が行えます。

【解答試案】

解答した記述文が正しいかどうかをすぐ確認できるように問題のすぐ下にレイアウトしています。解答する際は、テンプレートで解答試案を隠すことができます。



【解説】

解答を導くためのポイントなどを記載！解答を記述する際のヒントとしても活用できます。また、図やイラストなどを併記！記述解答のポイントイメージしやすくしています。

【関連事項】

取り上げた問題と関連のある事項を掲載！関連づけて覚えることで、この項目の知識を増やすことができます。

万全の サポートシステム

合格までの道のりを支えきる。

そのために、学習面のサポートはもちろんのこと、
厳しい受験期間に遭遇するさまざまな迷いや不安にも、
共に立ち向かいます。二人三脚で歩む担当パートナー。
急な出張や転勤にも即対応する日建学院のネットワーク。
学習を続けやすい、効果が出せるサポート体制です。

何でも相談、
合格まで二人三脚で親身にサポート

ライセンスアドバイザー

受講生一人ひとりに担当者がつき、入学から本試験まで、さまざまなサポートをします。出欠や成績の管理、学習面のアドバイスからメンタル面の悩みまで親身に対応。まさに二人三脚で、合格までの道のりを共に歩みます。



万が一の欠席も心配なし、
忙しい社会人をフォロー

欠席フォローシステム

仕事などの都合や諸事情で欠席しても、規定の回数までは欠席分の講義を個別学習ルームで受講可能(予約制)。学習の遅れを取り戻すことができます。忙しい社会生活の中で合格を目指す受講生を、万全の体制で支えます。



全国一斉、同一講義だから、
出張や転勤時も安心

聴講サポート

出張などで、いつもの通学校で受講できない場合も安心です。事前に予約すれば、全国の主要校の教室で聴講することが可能。全国どこの教室でも同一講義を行っているので、学習進度が異なる心配もありません。



個別ブースで
あなただけの学習環境を

補習や自習にも使える個別ブース

日建学院の個別ブースは全席パソコン設置です。周囲を気にせず自分のペースで補習や自習ができます。(予約制)



疑問や不明点は
メールでその都度解決

質問対応システム

講義や自宅学習、テキストやテストなどで疑問や不明点を感じたら、質問対応システムを活用。専門メール対応なので気軽に質問できます。わからない点は放置せず、早めに解決することが合格への近道です。



